

希望の岡 静岡でこれからの 「ひと・まちづくり」を考える

日時 2014.2.27（木）13:00～17:30

会場 B-nest 静岡市産学交流センター6階
プレゼンテーションルーム

参加無料
（懇親会含む）

<プログラム>

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:50 講演1

「江戸城築城にかかわる伊豆石丁場遺跡および文献資料の調査」

17世紀初期の江戸城築城の際、多くの石材を産出した伊豆石丁場遺跡の総合調査を、現在静岡県が進めている。本講演では、考古学（篠原）・文献史学（今村）両分野における、その調査成果の一端を披露したい。

篠原和夫（人文社会科学部 社会学科・教授）、今村直樹（同・准教授）

13:50～14:35 講演2

「社会調査による社会貢献」

これまで自治体、新聞社などと共同して実施した社会調査の経験から、社会調査に関してどのような基礎知識が必要なのか、また大学・研究者との間でどのような連携の可能性が考えられるのか、報告する。

平岡義和（人文社会科学部 社会学科・教授）、吉田崇（同・准教授）

14:35～14:50 休憩

14:50～15:35 講演3

「ひきこもり当事者・家族を支える地域ケア・サポートシステムの構築」

—領域横断的な専門職連携に注目して—

ひきこもりについては、地域の支援資源を掘り起こし多様な専門家や支援者が連携して、本人・家族に寄り添いながら回復の道の手を助けていく必要があります。報告者たちも一員であるNPO法人サンフォレストの活動も紹介しつつ、大学がこうした青年支援に対してどのような貢献ができるのか報告します。

荻野達史（人文社会科学部 社会学科・教授）、江口昌克（同・教授）

15:35～16:20 講演4

「地域におけるヒューマン・ケアの連携のために」

急速な高齢化が進む現在、人と人との絆をより強固なものにしヒューマン・ケアの質を高めることなしに、この国の将来を展望することはできません。ひと・まちづくりの重要な課題です。大学院教育の人材育成から生まれたNPOヒューマン・ケア支援機構の活動を紹介します。

松田純（人文社会科学部 社会学科・教授/NPO法人ヒューマン・ケア支援機構）

勝山真弓氏（音楽療法士/NPO法人ヒューマン・ケア支援機構）

上藤美紀代氏（ヴォイス・セラピー実践研究者/NPO法人ヒューマン・ケア支援機構）

16:20～16:25 閉会挨拶

16:30～17:30 懇親会（同会場）

本学教職員と交流を深めていただけるよう、お茶とお菓子をご用意しております。
参加登録不要・参加費無料ですので、皆様奮ってご参加ください。

◆申し込み方法

裏面の申込書にご記入の上、FAX・メールでお申し込み下さい。
申込書の必要事項ご記入の上、ハガキでもお申し込みいただけます。

FAX 054-238-3018

E-mail tane8p@cjr.shizuoka.ac.jp

ハガキ 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学地域連携セミナー 係

◆お問合せ先

上記メールアドレスまたは054-238-4630（直通）
イノベーション社会連携推進機構 杉本 まで

締切
2月25日（火）
（ハガキは必着）

静岡市葵区御幸町3-21
ペガサート内



公共交通機関をご利用ください

- ◆定員／60名程度
- ◆主催／国立大学法人静岡大学 イノベーション社会連携推進機構
- ◆後援／静岡市
- ◆協賛／国立大学法人静岡大学 人文社会科学部

人文社会科学部長 今野 喜和人

静岡大学人文社会科学部は地域や社会との連携に力を注ぎ
社会・言語文化・法・経済の4学科に所属する約百名の教員
がそれぞれの専門に従って多種多様な貢献を行っています。
今回は主に社会学科に所属する教員が、歴史学・社会学・臨
床人間学等の立場から、専門研究をどう社会に役立てるか
その一端をお示しします。